国道25号大阪柏原バイパス

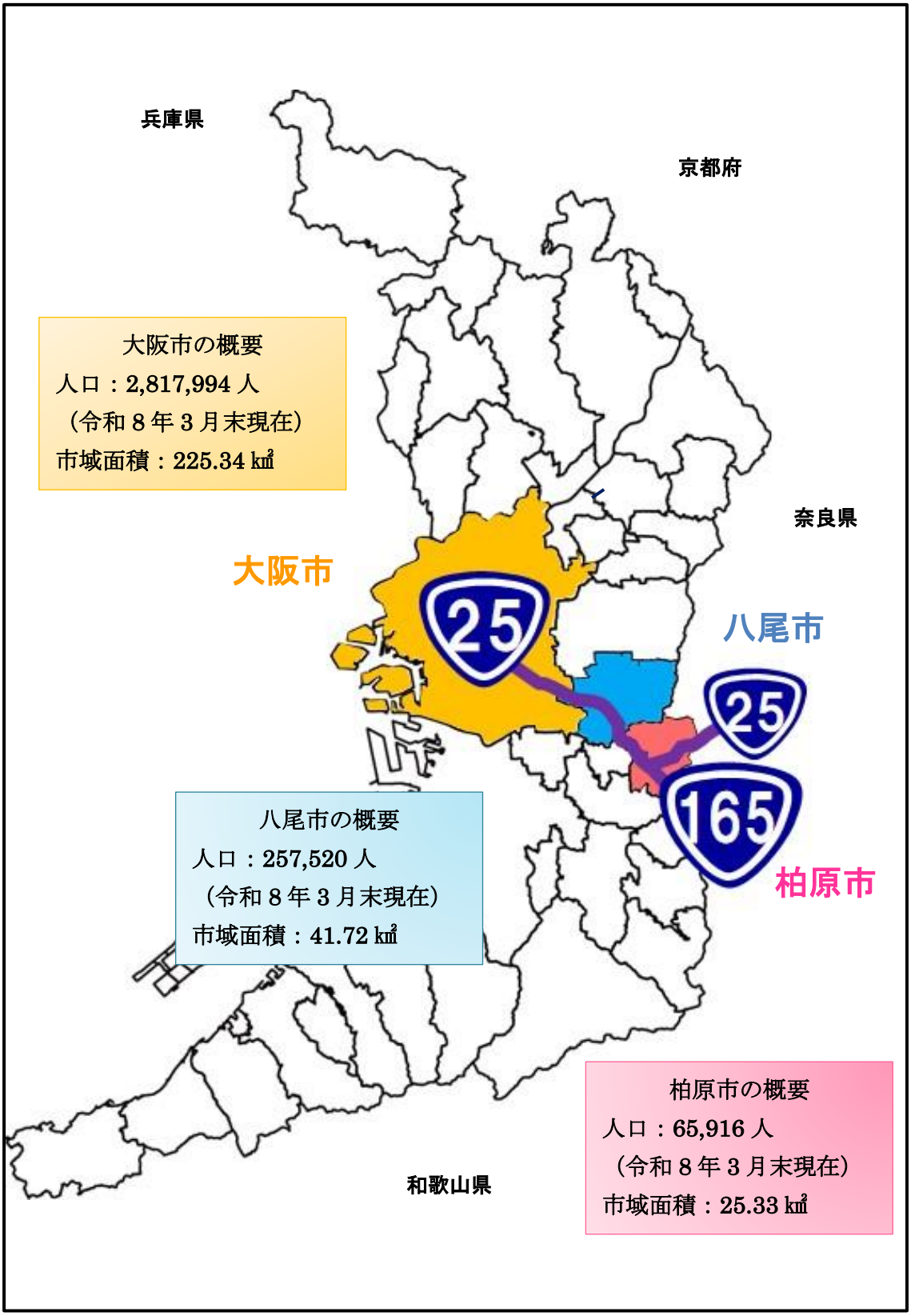
要望書



© Google Earth

令和８年11月

国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会
（八尾市・柏原市・大阪市）
・
大阪府


兵庫県
京都府
奈良県
大阪市
八尾市
柏原市
25
25
165
和歌山県
大阪市の概要
人口：2,817,994 人
（令和 8 年 3 月末現在）
市域面積：225.34 ㎢
八尾市の概要
人口：257,520 人
（令和 8 年 3 月末現在）
市域面積：41.72 ㎢
柏原市の概要
人口：65,916 人
（令和 8 年 3 月末現在）
市域面積：25.33 ㎢

要　望　書

国道 25 号は地域産業の要となる路線に位置付けており、また大阪中央環状線や大阪外環状線、国道 165 号と接続するとともに、第１次緊急輸送道路である等、大阪府と奈良県を結ぶ重要な交通の動脈となっております。

しかし、柏原市国分本町４丁目交差点から八尾市を経由する、大阪市の平野東１交差点までの国道 25 号の２車線区間においては、大阪府内の直轄国道の平均速度を大きく下回るなどの慢性的な渋滞が発生（主要渋滞箇所が 12 箇所存在）し、定時性・速達性の確保が困難な状況となっており、防災活動や企業活動、市民生活など多岐にわたる課題が生じているほか、民間投資等を呼び込みながら地域特性を活かしたまちづくりを進め、地域経済をより効果的に発展させていくためには、国道 25 号の渋滞緩和を図り、集中する交通を円滑に処理するための道路整備が必要であります。

また、近年の度重なる豪雨により、国道 25 号の通行止め等が度々発生していましたが、令和５年６月の大雨時においても、長時間の通行止めや災害復旧による通行規制により府県間の交通機能が確保できず多大な影響が生じたことから、「幹線道路の機能強化」が喫緊の課題となっております。

近い将来発生が予測されている南海トラフ地震や激甚化・頻発化する災害から市民の生命、財産を守るための国土強靭化が急務であり、災害時の府県間をつなぐ緊急輸送道路として、また大阪南北方向の広域幹線となる都市計画道路八尾富田林線（八尾工区等）や国道 165 号の４車線化（香芝柏原改良）が進む中、八尾空港や大阪府中部広域防災拠点、広域医療搬送拠点等への重要なアクセス路として効果が期待できる新たな道路も含めた広域的な幹線道路ネットワークの整備が必要であります。

引き続き、国道 25 号の抜本的な渋滞対策を含む大阪東部地域の更なる道路ネットワークの強化による当該地区の課題解消と地域の活性化、広域的な防災力向上及び計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、下記事項について要望いたしますので、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一、第１次緊急輸送道路である一般国道25号について、慢性的な渋滞や豪雨災害による通行止めなど、交通機能上の課題を抜本的に解消するため、幹線道路の機能強化が図られる「国道25号大阪柏原バイパス」を「災害に強い国土幹線道路ネットワーク」として位置付けるとともに、計画段階評価の早期着手に向け、具体的な調査を推進すること。

一、令和８年熊本地震や令和８年８月千葉豪雨をはじめ全国各地で相次いだ豪雨・台風では、災害に強い道路ネットワークの重要性が改めて認識されたところであり、国土強靭化実施中期計画を踏まえた関係予算については、危機管理投資による強い経済の実現の観点も踏まえ、通常道路予算とは別枠で、必要な予算を満額確保すること。

一、大規模自然災害に即応するため、地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと。

一、国民の命と暮らしを守り、日本列島を強く豊かなものとしていくため、近年の資材価格等の高騰、建設業における人件費の上昇等の影響を十分に踏まえ、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、『「強く豊かな日本」投資枠』の活用及び新たな財源の創設等により、道路関係予算については、所要額を満額確保すること。

令和８年１１月　１日

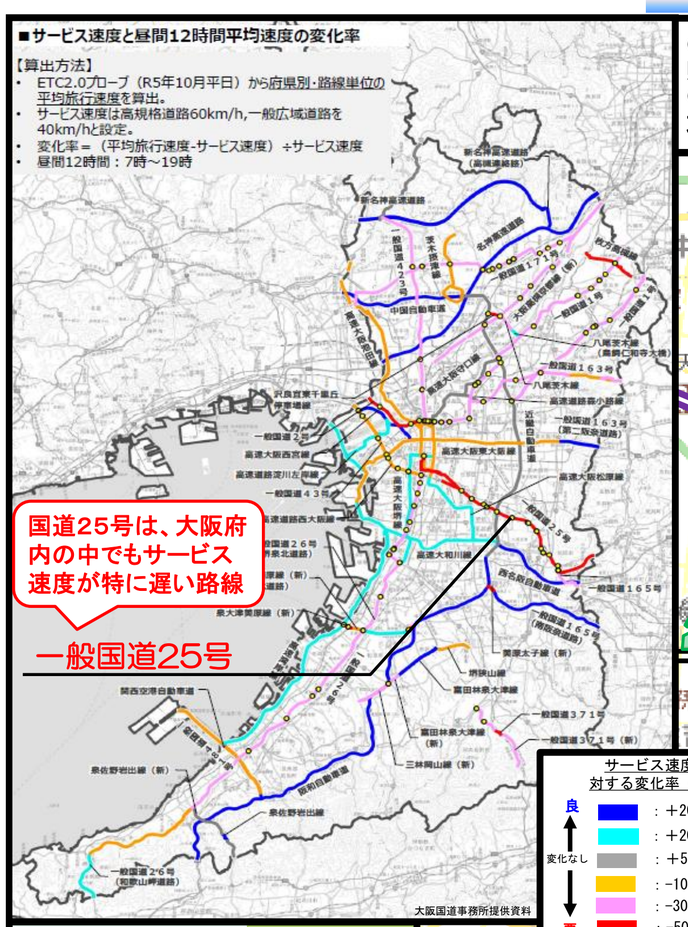
国道25号大阪柏原バイパス
整備促進期成同盟会
会長　八尾市長　大松　桂右
柏原市長　冨宅　正浩
大阪市長　横山　英幸
大阪府知事　吉村　洋文

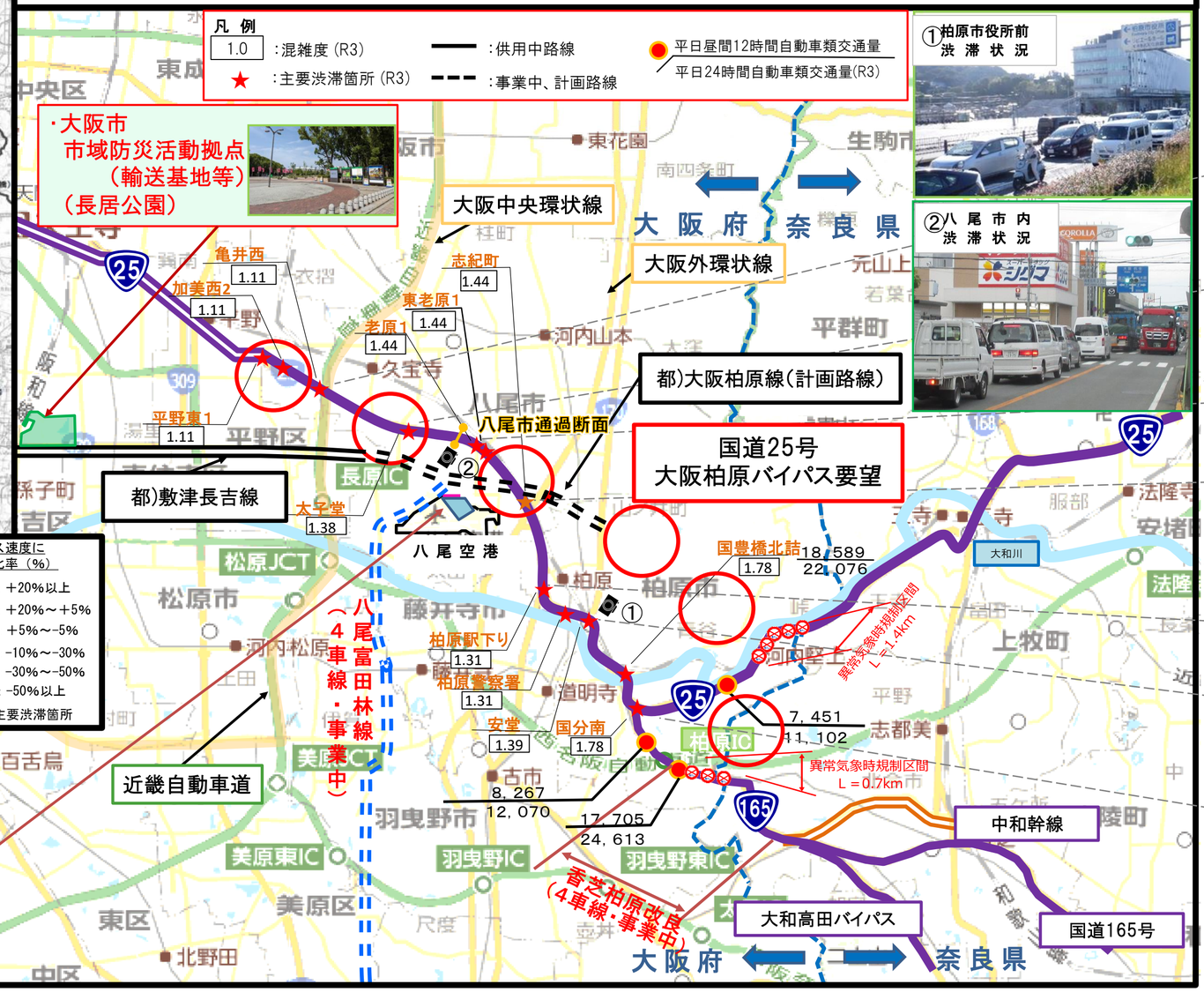
国道25号（大阪市、八尾市、柏原市）の道路交通状況（慢性的な渋滞状況等）

○地域産業の要となる国道25号は、大阪中央環状線や大阪外環状線との結節点、国道165号も接続することから、大阪府と奈良県を結ぶ重要な交通の動脈となっている。
○国道25号は、大阪府内においてもサービス速度に対して昼間12時間平均旅行速度が低く、また府内の直轄国道の平均速度を大きく下回るなど、慢性的な渋滞が発生（主要渋滞箇所が12箇所存在）し、定時性・速達性の確保が 困難な状況となっている。

■サービス速度と昼間12時間平均速度の変化率

【算出方法】
- ETC2.0プローブ（R5年10月平日）から府県別・路線単位の平均旅行速度を算出。
- サービス速度は高規格道路60km/h,一般広域道路を40km/hと設定。
- 変化率＝（平均旅行速度-サービス速度）÷サービス速度
- 昼間12時間：7時～19時





・八尾空港
・大阪府
中部広域防災拠点

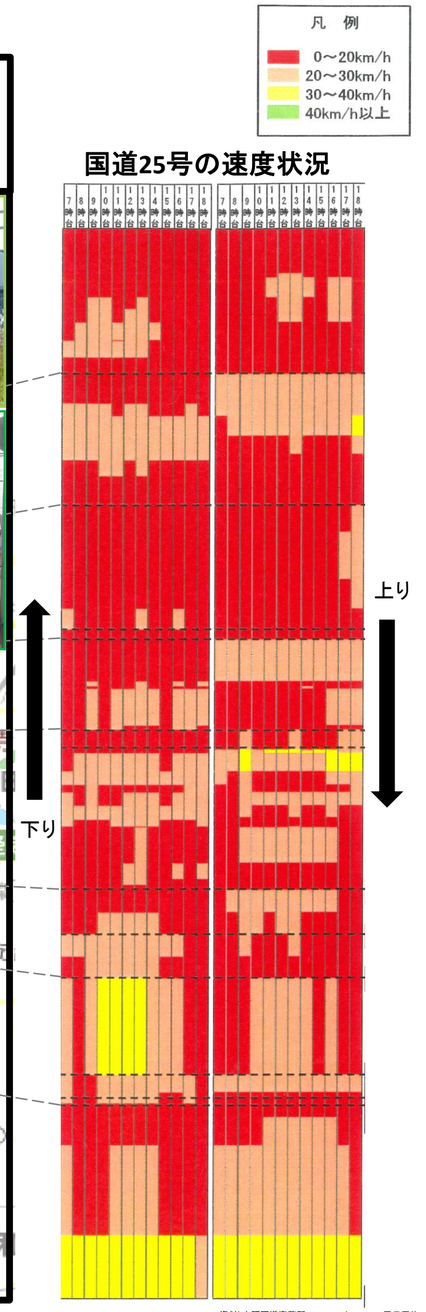
・大阪府
広域医療搬送拠点

・陸上自衛隊八尾駐屯地
（中部方面航空隊等が駐屯）

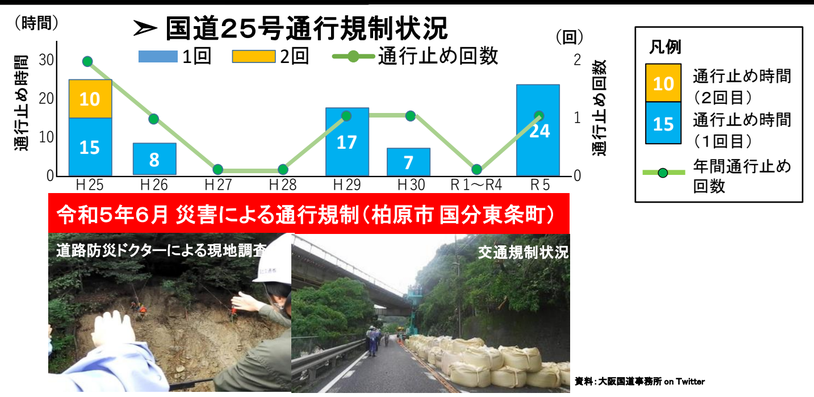




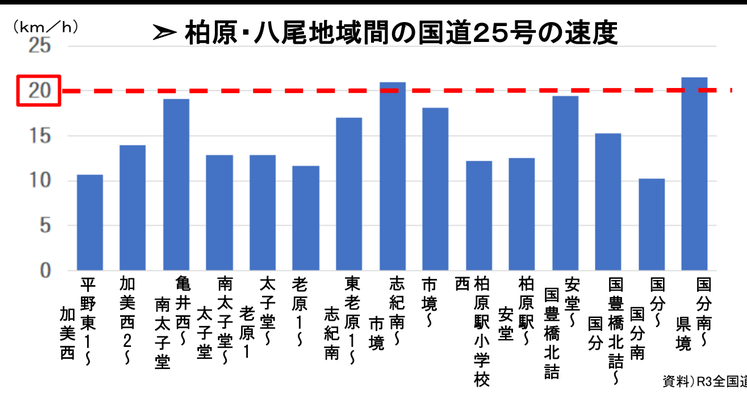
国道25号の速度状況



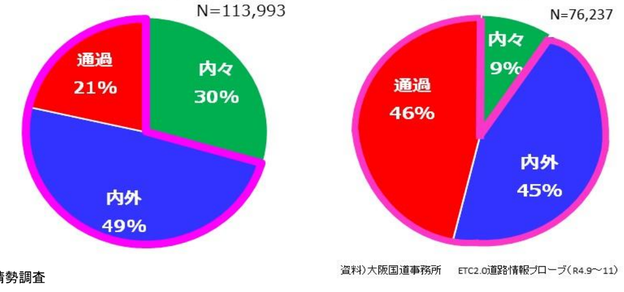
➢ 国道25号通行規制状況



➢ 柏原・八尾地域間の国道25号の速度



➢ 八尾市断面を通過する交通状況

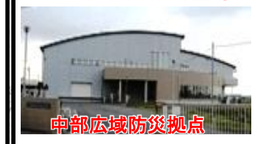


国道25号大阪柏原バイパスの整備により期待される効果

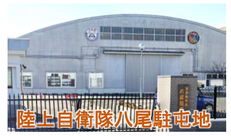
国土強靭化（防災力の向上）

- 大阪府地域防災計画において、広域緊急交通路の重点14路線として国道25号が位置付けられているが、国道25号の脆弱性により、災害時に通行止めが発生し、東西方面への物資輸送が困難になることが懸念されている。
  （代替路が無いことは喫緊の課題）
- 大阪府中部広域防災拠点は、大規模災害発生時に府民を災害から守る活動拠点・備蓄拠点（対象地域：大和川以北・淀川以南）となっており、このうち、大阪市枚方市、守口市、門真市、東大阪市、八尾市への府プッシュ型支援配送ルートには国道25号が位置付けられている。
- 国道25号大阪柏原バイパス整備により、災害時の府県間をつなぐ緊急交通路として、また中部広域防災拠点や地域防災活動拠点までのアクセスの向上等により、防災力強化が図れる。

防災力 UP


中部広域防災拠点


八尾ＳＣＵ
広域医療搬送拠点


陸上自衛隊八尾駐屯地


国道25号通行止め状況

近年の通行止め発生履歴

箇所名	通行止め年月日	通行止め時間
国道25号	平成25年6月26日14:40～6月27日6:00	15:20
	平成25年9月16日7:40～9月16日17:45	10:05
	平成26年8月9日13:40～8月9日22:15	8:35
	平成29年10月22日19:00～10月23日12:30	17:30
	平成30年7月6日5:40～7月6日13:00	7:20
	令和5年6月2日12:30～6月3日12:45	24:15
国道165号	平成29年10月22日22:00～10月23日3:30	5:30

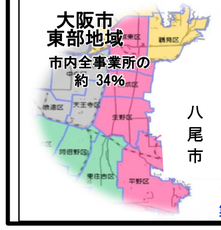
【柏原市】
国道25号は、過去10年で６回通行止めが発生するなど、市内の交通がマヒする事象が生じています。

地域のまちづくり、産業振興

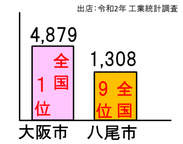
- 府県間における東西ネットワークの強化・アクセス向上が図れる国道25号大阪柏原バイパスの整備により、平常時はもとより、災害時でも市民生活や経済活動を支える交通を安定的に確保することができるため、八尾市南部エリア工業集積地における「企業活動の活性化」や「新たな産業集積」、「沿道のまちづくり（八尾空港西側跡地の整備など）」の実現が図れる。
- 柏原市内の幹線道路周辺には工場集積地が多数立地し、製造品出荷額は近年増加傾向にあり、また、関西圏でも有数のぶどう産地（大阪府ぶどう産出額の約３割）であり、ぶどう狩りの体験者数も増加しています。国道25号には主要渋滞箇所が複数存在しており、朝夕の通勤帰宅時間帯には慢性的な渋滞が発生していますが、国道25号大阪柏原バイパス整備により、企業活動の定時性や速達性の向上、観光客の増加など、地域産業の振興に期待できる。
- 柏原市域の堅上地区は古くからの集落が点在しており、地域コミュニティの維持や防災力の強化、地域拠点の整備や地域公共交通などの検討を行っている。また恵まれた自然環境や日本遺産、観光ぶどう狩りなどの地域資源を活かしたまちづくりを推進している。国道25号大阪柏原バイパスの整備により山間地域の地域拠点のみならず、観光拠点や防災拠点の役割にも期待できる。

■ 大阪市東部地域・八尾市は日本有数のものづくり地域であり、また柏原・八尾市域では国道25号沿線に工場が集積しています。

■ 国道25号を利用する際の道路交通問題として、「混雑・渋滞している」という回答が90%あり、また企業活動の課題として時間に関する課題が多いです。

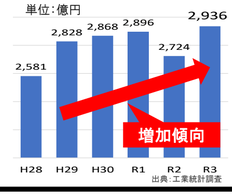


製造事業所数

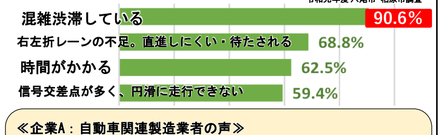


製造品出荷額

柏原市 製造品出荷額



国道25号を利用する際の企業活動上の問題



≪企業A：自動車関連製造業者の声≫
- 国道25号の渋滞が緩和されることで、定時性や速達性が向上し、輸送計画が立てやすくなる。
- バイパスが整備されると、災害時でも社員の出勤が可能になるとともに、通常通りの製造稼働により商品を出荷できる。

▼ 工業集積地におけるアクセス向上

産業集積地の確保を図り、企業誘致、市外流出を防止

■ 空港残用地を含むエリアにおいて、低未利用地を活用した面的整備による大街区での産業集積を検討しています。
国道25号大阪柏原バイパスの整備により、企業活動の活性化や新たな企業誘致が期待できます。



■ 国道25号大阪柏原バイパスの整備により、柏原市内、国道25号沿い等にある大規模工場集積からのアクセス向上、地区計画の決定による「新たな企業誘致」が期待できます。

▼八尾空港西側跡地の活用

賑わいや活力あるまちづくり

国有地 約 9.2ha（八尾市域 約7.1ha 、大阪市域 2.1ha)において、民間による開発を検討しています。
国道25号大阪柏原バイパスの整備により民間投資を誘発し、地域経済活動の活性化が期待できます。



▼八尾空港活性化

空港の魅力を活かした新たな賑わいの創出

「2025年大阪・関西万博を契機とした八尾空港の有効活用」
八尾商工会議所の要望も受け、商用運航される空飛ぶクルマの拠点、全国の地域へ人やモノの往来が高まる空港づくりなどを検討しています。
国道25号大阪柏原バイパスの整備により、空港へのアクセス向上が図られ、空港の利用促進・新たな賑わいの創出が期待できます。


©Archer Aviation Inc.

〒582-8555　大阪府柏原市安堂町1番55号
大阪府　柏原市役所（都市デザイン部 都市政策課）
072-972-1501　toshiseisaku@city.kashiwara.lg.jp



かしわら花火



観光ぶどう狩り



大和川

〒581-0003　大阪府八尾市本町1丁目1番1号
大阪府　八尾市役所（都市整備部 都市基盤整備課）
072-924-9868　toshikiban@city.yao.lg.jp



八尾河内音頭まつり



八尾の特産　枝豆



世界かんがい施設遺産　玉串川

〒559-0034　大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
大阪市役所（建設局道路河川部調整課）
06-6615-6778　la0004@city.osaka.lg.jp



御堂筋



大阪城



天神祭（日本三大祭）